

## ■2021当事者・家族のための 高次脳機能障害勉強会

日時:2022年1月19日(水) 第2回  
講義受講 & Web視聴

当事者の方にもわかりやすく説明しています。Web視聴と集合研修がありますので好きなほうを選択してお申込ください。

申込QRコードと詳細アドレス



<https://www.chiba-reha.jp/koujinou-center/guide/workshop/>

## ■高次脳機能障害地域支援者 向け連続講座2021

※詳細は6ページをご覧ください。

## ■第17回高次脳機能障害 リハビリテーション懇話会

日程:2021年11月5日(金)予定  
※詳細は後日、ホームページにて掲載します。

## ■第18回高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

日程:2022年1月15日(土)予定  
※詳細は後日、ホームページにて掲載します。

2021 第1回 **終了**

2022 第2回

**1月19日**  
(水)

高次脳の基本を2回に分けて勉強します

# 2021 当事者・家族のための 高次脳機能障害勉強会

しえんちゃん  
高次脳機能障害支援センターキャラクター

千葉県高次脳機能障害支援普及事業の一環として、昨年度から当事者及びご家族に向けた勉強会を新しく開催しました。今年度は2回シリーズで各回集合研修とWebでの開催を企画しています。

**講義 高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応**  
※第1回、第2回でそれぞれの症状についてお話しします

第1回	7/21	午後2時～ 3時15分	易疲労・注意障害 情報処理力の低下 記憶障害	第2回	1/19	午後2時～ 3時15分	遂行機能障害 病識の低下 社会的行動障害
-----	------	----------------	------------------------------	-----	------	----------------	----------------------------

**講師** 千葉県リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センタースタッフ

**対象者** 千葉県内にお住いの高次脳機能障害のある方やそのご家族

**受講方法** ①千葉県リハビリテーションセンターに集合しての**講義受講** 定員30名  
②ご自宅での**Web視聴** 定員100名  
※①②のどちらか好きな受講方法をお選びください

**参加費** 無料

**申込先問合先** 千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター 担当 荒井  
〒266-0005 千葉県千葉市緑区菅田町1-45-2 TEL 043-291-1831(代)  
E-mail:kojinoushien@chiba-reha.jp お問い合わせはなるべくメールでお願いします。

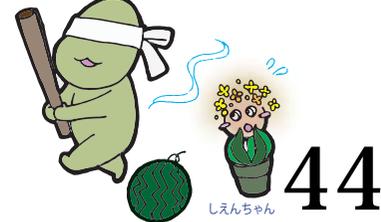
## 編集後記

■コロナ禍、この言葉を言い訳に身体を甘やかし、気がつけばすでに1年が経過。そして、甘やかした成果(?)が見事に実(身)になってまいりました。このままでは健康上の問題も無視できなくなってしまうそうです。なんとかしなければ!...というわけで、先週から、毎晩寝る前に簡単なストレッチを始めることにしました。ストレッチすると身体だけでなく心もすっきりしてきます。皆さんは心や身体のメンテナンス、どうされていますか? 新型コロナで活動が制限される日々が続き、心身のバランスも乱れやすくなっています。こんなときだからこそ自分でできる小さなチャレンジ、実行してみませんか?(四代目H)

■静岡県熱海の豪雨により災害を受けられた皆様、心からお見舞い申し上げます。編集後記を書いている時季、まだ梅雨明けはしていません。Yは雨になると気分や身体が重くなりがち。梅雨は「恵の雨」として生活用水や野菜、稲の生育の役割を担っていますが、近年はしとしとと降る長雨ではなく、大量に降り続く危険な「禍の雨」に思います。禍といえばコロナ禍と暗い話題ばかりですが、掲示板をお読みいただいているこの時期は東京オリンピック期間が折返し点。禍と福の世の中で、少しでも福の話題が多くなっていることを願います。...がんばれ、日本!(Y)



# こーじのう 掲示板



- 特集 子どもの高次脳機能障害の支援
- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こーじのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関する情報を紹介する広報誌です

## 菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージを頂き掲載しております。



## 「入院からアプローチする高次脳機能障害支援」

千葉県千葉リハビリテーションセンター  
脳神経内科 **赤荻 英理**  
あかおぎ えり



こんにちは。千葉リハに赴任して以来、十数年にわたり高次脳機能障害の診療に携わってまいりましたが、改めて長くお付き合いしていく障害だと感じています。

さて、当センターは回復期リハビリテーション病棟を有しており、高次脳機能障害の患者さんに入院中から関わることも多いです。しかし、高次脳機能支援は、入院期間内に完結することは少なく、退院後も長期にわたり支援を要することが多いのが現状です。初期は、失われた機能回復を目指しますが、その後は徐々に、残存機能を効果的に利用するための代償手段を取り入れて生活能力を獲得し、在宅生活そして社会生活に戻っていきます。高次脳機能障害は、目に見えない認知活動の問題であることから、他からはわかりにくいのが特徴です。保護的環境における入院生活では、障害が日常生活や社会生活に与える影響が明らかとはならず、退院後に初めて問題が顕在化することも多いです。よって、入院中からその先の段階を見込んでアプローチを行うことが重要になります。そこで、今回私たちは、入院中の高次脳機能障害患者さんを対象として、行う支援を、フェーズ毎に視覚化した『入院からの高次脳支援視覚化シート』を作成しました。これにより、今まで以上に、必要な支援を、担当する支援者に関わらず、適切なタイミングで提供できることが期待されます。もちろん、高次脳機能障害は、障害特異性や個別性が高いですので、シートに記載されたことが、全ての患者さんにあてはまるわけではありません。あくまでも、それまで症例毎に共有していた各職種による支援の提供や流れを標準化し、その後の支援につなげていくことが重要と考えています。今後も千葉リハが蓄積してきた高次脳支援をより充実させたものにしていきたいと考えていますので、今後とも宜しくお願ひ致します。

## 赤荻先生が講演される講座の紹介

### 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座2021

今年で3回目となる地域支援者向けの連続講座。第1回目、8月にWeb配信される『高次脳機能障害概論』では赤荻先生がお話しされる予定です。詳細はP6をご覧ください。皆様のご参加お待ちしております。

### 高次脳機能障害リハビリテーション懇話会

今年で17回目となる懇話会は赤荻先生が高次脳機能障害の診断書作成についてお話しされます。詳細は千葉リハのホームページでお知らせします。皆様のご参加お待ちしております。



### 高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会

2021.6.23  
WEB開催

今年度も引き続きWEBによる会議開催となりました。会議の主な内容は、①令和2年度の地域ブロック別課題と都の取り組み報告、②令和3年度高次脳機能障害及びその関連に対する支援普及事業運営方針についての説明(厚生労働省)、③令和2年度の事業実施状況及び令和3年度事業実施計画(国立障害者リハビリテーションセンター)の説明でした。

①では、コロナ禍で対面が困難となり多くの支援機関が研修会や会議をWEB開催するようになったことによるメリット・デメリットの報告、医療機関でのコロナ治療・感染対策に伴う入院短縮や外来休止といった当事者支援への影響、就労への影響、家族会の活動停滞など、共通した課題が報告されました。②③については、今年度も、昨年度と同様に各都道府県において高次脳支援を進めていただきたいとの話がありました。



### 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

2021.6.23  
WEB開催

支援コーディネーター全国会議は、今年度も昨年度と同様にWeb会議形式で行われました。千葉リハからは5人参加しました。内容は「ピア活動の意味と高次脳領域のピア活動に関する実態調査について」の講演、山梨県からの実践報告、「地域支援者向け事例検討会の持ち方」をテーマとしたグループワークでした。講演は、自助グループや同じ当事者同士によるサポートの意義や気をつけること等についての講義と高次脳機能障害者の



▲各部署にてオンライン会議に参加するコーディネーター

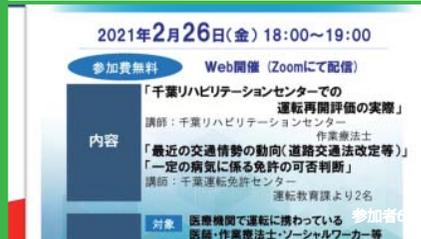
ピアサポート活動に関する実態調査からの報告がありました。ピアサポートは、令和3年度から障害福祉サービスでピアサポート体制加算が新設される等の動きがあります。山梨県からは、サテライト相談窓口事業の取組みなどの報告がありました。最後のグループワークではWeb上で小グループに分かれての意見交換ができました。



### 第2回 自動車運転に関する医療支援者向け研修会

WEB開催

2021.2.26 18:00-19:00 主催:千葉リハ テレセッション



▲研修会のチラシ

今回はコロナ禍であったため、Web形式での開催となりました。講演は千葉運転免許センターから講師をお招きし、『最近の交通情勢の動向』と『一定の病気に係る免許の可否判断』をテーマにお話いただきました。当センターからはOTが運転支援の紹介を行いました。参加者は119名。開催後アンケートでは、次回のテーマに関するご意見を多数頂いており、3回目の研修会に活かしたいと考えています。Web研修はメリット(県外遠方から参加可能など)とデメリット(双方向での意見交換が難しいなど)があり、デメリットは改善できるよ検討したいと思えます。

WEB開催

### 第3回 小児高次脳機能障害支援者向け研修会

2021.3.5 13:00-15:30 主催:千葉リハ テレセッション



▲研修会のチラシ

好評であった第1回研修会の内容を再演し、小児高次脳機能障害の概念(Dr)、支援の流れ(SW)、後半は「リハビリテーションの実際」と題し、運動を通じた高次脳機能障害のリハビリ(PT)、注意機能・視覚認知のリハビリ(OT)、子どもの失語と記憶のリハビリ(ST)、心理カウンセリングと家族支援(心理)について講義を行いました。全国各地から191名にご参加いただき、小児高次脳機能障害への支援内容や具体的なリハビリテーションについて理解することができたとの声が多く、大変好評でした。今後も私たちが培ってきた支援のノウハウを、全国に発信していきたいと思えます。

### 第14回 高次脳機能障害と自動車運転勉強会

WEB開催

2021.3.13 13:00-14:30 主催:千葉リハ テレセッション



▲勉強会のチラシ

本勉強会は高次脳機能障害支援普及事業の一環として、自動車運転再開に関する支援者の育成と研鑽、及び情報交換の場として2012年10月から開催しています。例年当センターにて、支援者同士の顔合わせも兼ねて勉強会を行っていましたが、一昨年度は勉強会中止、今回はweb開催にて、千葉リハでの運転支援(運転学習会、障害別支援、フォローアップアンケート)の紹介を中心に行いました。講義後はチャットでの質疑応答も行われ、運転支援を行う中での疑問や評価の視点なども共有することができました。今後も運転支援の情報提供・交換の場として本勉強会を活用して頂き、運転支援者同士の繋がりができればと思います。

WEB・集合

### 第1回 家族のつどい

生活自立のための手法～生活版ジョブコーチを知ろう～

2021.5.19 10:00-11:30 主催:千葉リハ テレセッション



Web配信の様子 ▶

「生活版ジョブコーチ支援」とは、支援者が生活する場に訪問し、ご本人の持っている力を活用しながら繰り返しの行動定着を支援し、自立を目指すための支援手法です。支援者は高次脳センターのスタッフから地域のヘルパーさんに移行して支援を継続していくことを目指しています。参加者は当センターで参加されたご家族が9名、自宅で講義動画を視聴されたご家族が10名でした。ご家族からは、「今後の知識として大変参考になりました。」等の感想をいただきました。次の開催は9月15日(水)を予定しています。

本人と家族の「課題と支援のポイント」

子ども(小児～青年期発症)の高次脳機能障害は、大人へ成長する過程の中で、心身の発達や教育、就学・進学・就労といった年単位で変化していく環境など、この時期発症ならではの幾つかの要素が障害に深く関わってきます。そして、子どもを支える親へのサポートも等しく重要です。発達時期より起こりうる当事者・親の課題やその時期の支援についてまとめました。

課題

基本的な生活習慣を再構築し、神経疲労や注意障害に配慮しながら保育園・幼稚園・学校などの集団へ参加し適応していくことが求められる。成長発達が著しく、抽象的な思考力が伸び、社会性が広がっていく。教員の障害理解には医療と教育の連携が重要である。就学や進級・進学時などに、介助員や特別支援教育の利用を検討する場合がある。

本人



課題

親子間では意識せずにサポートが得られるが、他者との間ではそうなりにくい。対外的に親が関与してきたのが、自立に向かうこの時期は親が関与しにくくなる。この時期の発症では、発症前の自己像が揺らぐ。自分なりに行動するが、自己モニタリングが弱いと自分の「思い」と親や周囲とのずれが生じ、対立しやすいく。

友人・教師など



課題

何をすべきか明確な教育の場(～高校)から出て、より能動的な判断や行動が求められる場(大学・就労場面等)へと進んでいく。進路選択では多様な選択肢が提示されるが、本人は高次脳機能障害により、自己の客観視が難しくなることがあり、発症・受傷前の将来像から離れられず、現実的には困難に直面する場合も多い。また、自立が進み、家族や教師から無意識にサポートを受けていた状況から、職場・支援者などの「第三者」へと支援を依頼していく必要が生じる時期でもある。



課題

社会活動では、①定着困難 ②職場環境の変化などの課題が生じる時期である。また、生活面では、親亡き後に生活が崩れ、社会活動にも影響を及ぼす場合も。



幼児期  
学童期

思春期

青年期

成人期

課題

発達途上の子どもの中途障害であり、子育ての主体となる親には特に、現実的な喪失に加え、思い描いてきた将来像の喪失体験となる。先の見通しのわからない不安感、自責の念など、複雑な心情を長期に持ち続ける。親の苦悩する姿は他の家族メンバーをも不安定にし、きょうだいを含め家族全体の危機となり得る。

家族



課題

家族自身も職場や家庭で役割を持っている年代であるに加え、当事者の障害を受け止め、進路の決定や、日々の生活の中で起こる課題を解決しなければならぬ状況にある。自立しようとする子どもとの関わりに迷うなど、時間的・精神的に余裕がない場合も多い。



課題

家族の管理下で生活していた子供たちが少しずつ自立していくことへの不安や戸惑いを感じやすい。また、家族自身も、親の介護、退職、自身の体調変化など、生活に変化が見られ、親亡き後を考え、何を準備したら良いか徐々に考えていく時期となる。



今号の特集では、小児～青年期発症の高次脳機能障害の支援について、発達段階別に起こりうる課題と支援のポイントについて紹介します。

社会のサポート(学校・支援機関・行政・職場etc...)

高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

今年も『地域支援者向け連続講座』を行います！

地域の支援者に向けた連続講座

2019年度より新しく始まった千葉県内支援者向けの連続講座(5回シリーズ)を今年度も開始します。2020年度は新型コロナウイルス感染症予防のためWeb配信で「高次脳機能障害概論」講義を同内容2回に変更して開始し、多くの方にご視聴頂きました。

今年は4回シリーズ

概要と対応について、事例を交えながらお話をします。第2回と3回は、Web配信以外に、20名限定で集合研修も行う予定です。集合研修では、講義に加えてミニ体験および質疑応答を行います。ミニ体験は、第2回は「面談の見える化」、第3回は「手順書作成」です。地域支援者のみならず、急性期回復期に携わる医療スタッフの皆様もご参加いただくことができます。すでに支援をされている方、これから支援をされる方、1回のみでの参加でも可能ですのでぜひご参加ください。詳しくはホームページをご確認ください。

最前線に立つ医師の講義

実際に経験している医師からの生の声が聞ける研修会は、支援者向けとしてはとても貴重です。この機会に参加されてみてはいかがでしょうか。



第1回「高次脳機能障害概論」講師  
脳神経内科 赤荻 英理先生



第4回『社会的行動障害・失語症』講師  
精神科医 先崎 章先生

集合研修はミニ体験付き

明日からの支援に役立てていただけるよう計画をしております。ミニ体験は集合研修の2回と3回になっております。20名限定ですのでふるってご応募してください。

※集合研修は新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります



申込QRコードと詳細のアドレス  
<https://www.chiba-reha.jp/koujinou-center/guide/workshop/>

高次脳機能障害 地域支援者向け 連続講座 2021

Web配信 集合研修  
集研日程は3回、3回の各回 20名限定  
集研：千葉リハビリテーションセンター

【参加申し込み注意事項】  
・集合研修は先着順となります。なお、申込み多数の場合、後お申込みいただいた順番で、集合研修に参加することがあります。  
・ご参加までお待ちいただく場合があります。  
・1回のみでの参加でも毎回の参加でも可能です。  
・申込締切は各講義開始日の2週間前となります。  
・欠席の場合は必ず事務局にご連絡をお願いします。

第1回 Web配信 8/18(水)～8/24(火)	高次脳機能障害概論 高次脳機能障害の概論についてお話しします	講師 赤荻 英理 (第1回) (脳神経内科)
第2回 Web配信 10/21(水)～10/27(水)	各論1:注意障害・神経疲労(脳疲労) 聴覚と聴覚についてお話しします	先崎 章 (第4回) (精神科)
第3回 Web配信 12/17(金)～12/23(木)	各論2:記憶障害・遂行機能障害 聴覚と聴覚についてお話しします	長谷川 純子 (高次脳機能障害支援センター)
第4回 Web配信 2/16(水)～2/22(火)	各論3:社会的行動障害・失語症 聴覚と聴覚についてお話しします	小宮 裕子 (高次脳機能障害支援センター)

【各回】  
参加無料

千葉県高次脳機能障害支援センターと連携して、地域支援者向けに連続講座を開催しました。高次脳機能障害の専門家の方々の支援に役立っていただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

2019年度より新しく始まった連続講座(5回シリーズ)を今年度も開始します。2020年度は新型コロナウイルス感染症予防のためWeb配信(高次脳機能障害概論)講義を2回で行い、新型コロナウイルス感染症予防のためWeb配信(高次脳機能障害概論)講義を同内容2回に変更して開始し、多くの方にご視聴頂きました。

今年度は2020年度と同様に、ミニ体験(「面談の見える化」)、「手順書作成」を行います。

高次脳機能障害支援センター  
TEL.043-291-1831 代 E-mail.kojinoshien@chiba-reha.jp  
お問い合わせはなるべくメールでお願いします。

連続講座2021のWeb配信スケジュール

- 第1回8/18～24  
「高次脳機能障害概論」
- 第2回10/21～27  
各論1:注意障害・神経疲労(脳疲労)
- 第3回12/17～23  
各論2:記憶障害・遂行機能障害
- 第4回2/16～22  
各論3:社会的行動障害・失語症

旭神経内科リハビリテーション病院

昨年度から新しい試みとしてオンライン方式を活用しておりますが、コロナ禍が続いていることもあり、今年度も継続していきます。普及啓発の講習会・講演会ですが、今年度は「コミュニケーション」をテーマに、数回(内1回は外部講師を招いて)開催予定です。社会復帰へ向けた集団訓練「さくらの会」も2年目に入り、前年度の内容をブラッシュアップして実施しております。今年度は昨年度の実績を基に、各参加者の適正に合わせた訓練を加えています。また、昨年開催した高次脳カフェ改め「Webお茶会」の実施に加え、当事者同士および支援者をオンラインで結ぶ企画を検討中です。これらの事業に対応するため、新規メンバーを追加してまいります。



亀田リハビリテーション病院

先日、高次脳障害コーディネータの会議に出席しました。リモート会議で行いました。全国のコーディネータと議論を円滑に対応できることを体験できました。当地域は移動距離と通信網のデメリットが大きかったのですが、何か工夫をすれば新しいやり方を見つけられるような気がしました。他県の安房地域の特性と類似した地域と交流を持つなど、家族会の方々と相談し新しい在り方を話しあえればと思います。本年度も一昨年から取り組んでいる活動地域を拡大し、千葉県全体でモレのない高次脳支援の幅を広げたいと考えています。(写真一昨年の研修風景)



総合病院 国保旭中央病院

支援拠点機関として1年目の活動となった昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応や対面活動の自粛・制限などにより、混乱の中での船出とはなりましたが、高次脳支援拠点機関をはじめとした関係機関の皆様との新たな繋がりが協力もあって、意見交換会や研修会などを開催するなどの活動が出来ました。ありがとうございました。引き続きのコロナ禍で、3密は避けていかなければなりません。関係機関との連携は“密に”取りながら、活動して行きたいと思っております。今年度もよろしくお祈り致します！



▲ハマビルガオが咲く九十九里浜。飯岡灯台(屏風ヶ浦)をバックに

千葉県内には千葉リハの他に、支援拠点機関が3つあります。毎3つづつの支援拠点機関の取組みや情報を掲示板のなかで発信していきます。